

平成 28 年 1 月 13 日

鹿児島大学病院 病理診断科で

肝粘液性嚢胞腫瘍の診断を受けた患者さんへ

(臨床研究に関する情報)

鹿児島大学病院病理診断科では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の診療記録等をまとめる研究です。このような研究は、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究について詳しくお知りになりたい時や、研究への参加を希望されない場合は下記の「お問い合わせ先」へご連絡ください。

【研究課題名】

肝粘液性嚢胞性腫瘍におけるステロイドホルモン産生に関する研究(多施設共同研究)

【研究機関】 鹿児島大学病院 病理部

【研究責任者】 東美智代（病理部・准教授）

【研究の目的】

肝臓の粘液性嚢胞性腫瘍は大変珍しい病気で、まだ良くわかっていないことが多いです。特に肝臓なのに卵巣のような組織があり、卵巣と同じようにステロイドホルモンを産生していますが、その仕組みは良くわかっていません。そこで東北大学を中心として、その仕組みを解明する研究を行うことになりました。

【研究の方法】

●対象になる患者さん

平成 10 年 10 月 1 日から平成 27 年 10 月 30 日までに鹿児島大学病院で肝臓の手術を受け、「肝粘液性嚢胞性腫瘍」と診断された患者さん

●診療録（カルテ）から利用する情報

お名前や住所などの個人情報を使用致しません。

●使用する検体

手術により摘出された組織で、すでに病理検査が済んだ後の余剰分を用います。新たに採取するわけではありませんので、副作用や不利益はありません。

【個人情報の取り扱いについて】

研究で使用する診療情報は、患者さんの氏名や住所など、患者さんを直接特定できる個人情報を削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌などで発表することがありますが、その際も患者さんを特定できる情報は使用しません。

【研究の資金源等、関係機関との関係について】

この研究は、鹿児島大学大学院医歯学総合研究科病理学分野の研究費で実施します。東北大学では運営交付金で実施します。企業等からの寄付は受けていませんので、利害の衝突は発生しません。

【参加を希望しない患者さんへ】

この研究に参加を希望されない場合は、下記問い合わせ先までご連絡ください。あなたに関するデータを削除します。ただし、学術発表などすでに公開された後のデータなど、患者さんまたはご家族からの撤回の内容に従った措置を講じることが困難となる場合があ

ります。

【問い合わせ先】

〒890-8520

鹿児島市桜ヶ丘 8 丁目 35 番地 1 号

鹿児島大学病院 病理部・病理診断科

准教授 東美智代

電話 099-275-5263 FAX 099-264-6348